

鍋島侯之詩作

深海三介より傳之

紅鯨結團意気豪西南決背勢重濤
羯奴若有侵邊事糧血飽膏日本刀

長壽寺より伊澤君詩

蛮奴天有利並奇那与神祇接礼仪
波浪侵耳三萬里滿船兵器都兜鍪

一清方より惜しい書附 お文同めいゝと書る

一當時廣國と大國との争ひ又、再戦のこゝにイギリス國より
軍船三百艘程仕出し、お教居則々東方角より来り、然れ
ども廣國より不十分に出、然れども入付、阿蘇陀船中より由り、
計る渡来、使節の船方船名、大矢二、各備四十丁、但二丁、
人より、而して、且又日本漂流人連、且、海より、けり、新、漂流、
い、若、欲、又、先年、漂着、こゝ、彼國、有、付、日本、通、り、并、文、字、
師、匠、を、以、居、ち、を、あ、め、内、ち、こゝ、連、海、い、り、不、れ、か、
一、先、便、荒、海、より、通、り、追、國、備、方、は、作、り、并、あ、り、二、丁、大、
守、物、は、案、込、り、掛、り、場、如、沖、西、面、番、所、由、迴、見、由、手、南、と、同、二、

早由早子尤係節船航うけ進三仕せ次第諫早進馬し由
但當年尚係肥前番所別ては手前同国役船三万艘程
事り由皆追入津指佐力外臺場く口船繋ぎ仕居中在
又侍内三方人自身塩硝を帶り下知次第係船に乗込
焼立手前さう有る

一今り大村方より來込是又つる手備中在且不遠平戸
公美作ら肥後公老を追て來込或は由肥后筑前大
村道役船り日入津付且國之方手備て一同乗込由
以上六月二十七日出仕申進

七月十日卯申刻生兵日限二十四卯刻京幕より

七月二日卯申刻使取本所系院船見出外津進同日未の
中刻迄込高鉾おえ碇突但右注進込正務屋より早快
仕立これおい付諫早より追侍衆走付け外沖臺場く卯刻
着重備注則左通西泊り番所諫早公親子三人纏
船印馬印鑓旗其外道具美々々々付戸町番所深堀
公お日付
西浦番所肥前分館船番十艘鑓付お日付神
突の臺場肥前分諫早分より付お日付
鼠宮小ヶ崎神
大井首香焼崎伊王崎同以臺場より付お日付
白崎長刀崎高鉾崎佐尾崎筑前分臺場右日付本

宗の嶋 小瀬戸 福田浦 大村の壘場なり 右の海面より
回して後船鎗付あり 西浦番所并所々壘場陣場
不殊夜中篝火海陸を殊高張 右洗合々待衆陣の撤陣
並出具足鎗の帷子又えん股引と者有之右と通海
向義陽のるを細密に字命に記す右に尤當方別命
に通海手記を記し作は西海へえ挽入ぬ右に挽引拂お
成る右使隊船九月二十日午一子方まで早うへて入津
軍船とやまハフレカット入津船号つらレハ使隊に名ハハ
ユツエークス乗組三十人石大矢二名後早ハ挺但一代り石大
矢と知合百挺例よりハ大形船に在る船中前よりハ武備
船砲玉等兵糧水等一役向東院人兩人ハ半時代り船の
左右生入口張番あり但一帯剣三付鉄砲五挺役人四
名乗船し其ハ同先を向け接中一役役人使隊船へ乗
込の路ハ全砲と重とをいれお毛人五人石大矢へうと甚
重重に降し但船中見物見廻しハ一帯剣とお毛人附
添共四と介見せ不申いし 一役役使隊乗船し其ハ
見廻し様の物取文庫を去りし 一船中武備重重に
合同次中夫と役割兼るの按通と云遠乱備方お整ゆる
一は右渡来の趣意お尋しはうけ義阿常院國王の封
書とお認め之ハ存不申申由尤右事書ハ江府へさし上り申

あやうし
一使臣阿蘇人役の向ふ石狩帶剣
生きたる手に乗却り
一武器を乗揚りし故に所
いれしは軍船の廉にて降参り敗軍に降参りて
揚けり予て越本國へ参りしや
石狩大揚り申し
一高鉾より入陣以來炮火決
りて我軍の所はしりし西河に破却し敗兵石火矢數多打
し予て軍に詰りし故に敗兵出りし市は
一當三の呈書并献上物し使臣船より揚けし故
に敗兵出りし市は
一兩艘のハッテラ船
但し一お書に申す沖へ備入陣の故に引けし
り付道具幕高張して人數は多し
一肥後
守城の引掛し故に敗兵出りし市は
筑前播磨の故に敗兵出りし市は
とれ乗込し故に敗兵出りし市は
凍早の故に敗兵出りし市は
一人名衆し故に敗兵出りし市は
一二月阿蘇
陀本國船より呈書并献上物生けり
い辰刻はハッテラ船二艘より武官の故に敗兵出りし市は
粒いて生きたる手乗却りし故に敗兵出りし市は

午刻に呈書揚りし船中を去りしに船中の者
皆帆^{柱え}揚りて石火矢放し其の免す之故備^{まね}船を
いづる呈書に相入候大^将性并武者十六人其の附添はテ
う船中艘を護う一挽船をえ商賣船の降^同備
船中色旗のより立見物し水門に控る船を去りし上
へ入申し大將装束の傳黃天裁る俄金モルノ下着両肩
に金房より本國帽子是又おぬ金かざり物有之武
官十六人其の仕度者^明帽子帶^創袖に各両肩金の
房かざり口^中に指ひぬき人^中是又右肩に頭白帽子あり
是ハ金時計杯の中置ありは外に相入候と有之おかい
之部屋へぬめぬき差してお背長と衣を左衣書衣夜衣
守護番有之由あり今日申奉り可なりといふの左
通 甲山名尾 大ニ柄 大將といふ一様家 曰小十六柄
武者十二人 鶏^忍五^忍お 芋^忍三^忍お 奴^忍と三^忍お 少
士^忍五^忍お 大根^忍五^忍お 船^忍三^忍尾^忍一^忍 少^忍何^忍
以上右に通阿^忍系^忍人^忍は歸りし

江に表より或藩中より、書状中、文^{深海氏}
此度長崎の表に毛船一件より汝は有之に、は、仁^高美^高の船
えは主之別如船に、は、政^高道^高助^高下^高之^高受^高に^高あり、^高熟^高先^高進^高最^高

鐵器等々多し長崎の船之中尤長崎の船六月十七日分七月
止に著岸し轉りて他國の大船夫の船を海岸に人衆を
出さし中然る七月に著岸し有之を政道船に於て船中
之の年商賣船入津せしる毎に好の品運來其決るは物
持事の中より果ては本邦不用の品を賣る由を大船日
こり付年餘人あり廣くして其非常事ありて武備用意
されし由先政道船より日木を引く事ありて有用の品
儀小字の船ありて船中にも東より只今度海に來り
キリスの船より先年甚多キリスの取り來りて船中
にありて船中より有之を船中より先年甚多キリスの
取らるる由先政道船より日木を引く事ありて有用の
品儀小字の船ありて船中にも東より只今度海に來り

阿波國仕出し見ゆ書

七月に本國使より阿波國船一艘に別注進石大矢等仕
佐更なる由是番より別注進ヤコ子連兩番和沖油等
由備土來り役あり別檢使由生元通

より兒山錦ゆり杉村勝子 日心四人

大分國祖立通倅數千人建り九船名并番番船數艘

小徳士目附由人目附メ一艘

附水浦掛居の船は洋沖へ押入へ別檢使船目附船
二大鼓打テ博し一足ありて國へ早打番由法より番
別注進小具三降馬鞍打由西掛達有目子あり

出る在り西の義院公を沖へ出せし時、本國船未だ刻々鉾島に
二艘入る、連中復は乗し、船端に剣付し鉄炮おろし、向
方三並の役人迎へて乗入し、使臣を右中帶劍、系
人數十人鉄炮おろし、重く取囲ひ、横たふ書東さし上り、質阿
義院人兩人差生し、使臣の指し追ふ、直に申之由、出付由
國法に通す、未だ多時、卸の役所より、高船より、渡り船の
存客易に卸し、おろし、船中より、掛り、おろし、此より
出せし、追ひ、おろし、質阿人、連中、生さぬ、毛銀、滞
留し、即ち、本船長、三つ、七、今、幅、七、半、船、号、つ、し、カ、ト、フ、ラ、ン
パンタ、バツテ、ラ、日、本、三、テ、ニ、舟、の、り、し、六、艘、及、船、大、小、を、使、お、ろ、し、
ハタ、ミ、と、言、ふ、所、不、分、船、主、役、名、ハ、一、ハ、エ、ツ、エ、ウ、ス、物、主、持、ち、年、十
ハ、歳、年、組、三、ろ、十、人、石、火、矢、三、八、挺、船、兩、端、上、取、九、挺、下、段
ニ、挺、と、稱、い、お、ろ、し、大、火、二、挺、積、荷、物、九、藤、已、ハ、軍、用、に、石、火、矢
打、掛、の、防、け、と、う、ま、て、防、い、う、玉、子、軍、器、沢、山、兵、糧、米、日、本、
米、あり、丸、あり、布、袋、あり、い、ま、太、大、三、つ、に、お、付、の、ま、南、風
酒、美、太、極、似、は、越、し、船、中、の、外、部、屋、に、音、楽、或、風
琴、等、品、と、鳴、物、を、無、を、使、し、居、り、是、を、生、き、る、平、山、中、に、お、
見、物、人、の、中、に、一、件、常、例、ハ、船、を、遠、大、夫、に、振、船、の、外、ま、り、
鉄、板、を、包、立、お、て、堅、固、に、し、

一、西、は、倭、の、内、の、西、に、立、給、佐、山、の、南、の、ち、一、神、宮、の、あり、北、の、方、十、人、
番、而、あり、

一戶町

溪内の車と立戸町山の南の西北番所の東西向の沖堂

場鳥

今年由南番倭買戻

求堅人物圖三市定收付幕打過番改中六銀定收付

幕の移物吹貫纏船印を立寄る生中へ帝

物是執力以之而後也。佐賀鍋島侯一萬五千人船六万

艘 神奈山 印西迄の番所 凍早豊守 ウチカス 手勢四千

人形万艘
魚貝藏
印戸町の番所
鍋多
孫六手替二千

人船万艘
三千名高士船中掛紅毛方火番西物物戶町

高鉾（高鉾の南に、西の方海上に里々沖に在るあり）

船四艘 黑田之左 内用
 大番 四人 佐頭 福岡 兩侯 長安 濠口

入舟の阿久と船主カミイ屋邊
六月十九日夜福岡着、夜早車

祝風博多両支へは所無一町は廿二午に能歸く一町出し則丑刻

御
○福田山太浦
大村侯
四千
船
三艘
餘
福田
當

大船六艘、小船數艘、大將分三隊、一備三人、大國三艇、物

直に下宿今に於て所本古川下銷至下辺古村役人町役人

本の外沖著し正肥す鍋煮候より煮車馬馬

入有之同國流多三動生崎の上
沖多し沖ノ多
硫黄多し香燐多し

此之方ハ長安の隣に南三里斗の有。久留米肥前在府。柳川肥前

の南里山合戦場の唐津 日向月下同に生るゝ島原 在府
早く要らざる

長崎大学附属図書館経済学部分館 武藤文庫所蔵

本陣由因ノ番以斗長きありて 一七ノ船位候所
出崎沖水巡見有る本船位ノ通旗多かりし申
刻湊入西由番より破入例ノ通船御 本石大
矢打放し 日方より破入なりしなり

奉奉行所より申渡 かいえに

先達船々々々あり内証より美有る中付に付より
中知有る近高鋒辺ノ滞船よりいぬ承知し候所
異論有るより交同より候波荒し候なり
一延申する格別ノ効弁といへ入る處遣り
船中より申渡す候中よりいぬ入る候なり

一西に由番あり内の方へ破入申九輪位差回あり

一湊入ノ西由番破船の幾は江府下知之内存空炮も
打ちあり 一湊内滞船中ノ別り堅く固き林あり但

し一と同一の炮あり船よりいぬ入る候なり
と申し合ふ候なり 一と申し候なり

右ノ條よりいぬ入る中より勿論ありと有るより
便のより要する一と申し候なり 一と申し候なり

カヒタあり美有るあり 辰七ノ

右手頭出たるより美有るより湊西に破入あり
一内半湊内へ水俣替岩瀬道口大浦濱手候あり道禁
ヶ濱よりいぬ入る場晝夜より備有る候なり

多く別る年、殊に強定、暖升降、そそ度餘、而漸、
氣、冷、氣、備、一、所、本、國、船、乗、組、三、十、人、
人、乗、人、一、人、不、通、之、由、創、付、の、乗、人、三、人、
鉄、炮、役、而、創、付、の、乗、人、三、人、
夜、夫、の、鉄、煉、鉄、炮、石、火、主、込、の、情、
之、者、ち、う、ら、い、テ、う、ま、生、活、通、り、
使、匠、の、由、東、城、年、海、水、
令、使、匠、を、ち、う、ま、
之、の、別、事、府、
船、薩、摩、沖、の、取、手、
令、有、之、の、付、
之、の、共、一、付、
箱、有、之、の、四、方、位、
焼、失、
之、の、
免、故、
人、忍、
承、知、
一、鍋、

此れを廿七年おきてふ事、改名洞法、浪人等あり、
子て而返隊と申付先陣仕るや、秋新、存其の物、三匹、悔集
は、御付人、取し、石叶いり、切腹、さる覚悟と、申、由、言、ふ、あり、

仰、付、

（名、役、人、く、） 本、通、洞、年、事、の、名、例、
（名、モ、ノ、ヨ、イ、）

一、若、人、と、通、洞、を、致、意、對、し、以、て、名、共、の、立、合、の、申、付、の、方、論、
二、亦、こ、の、混、雜、と、致、し、こ、の、名、共、の、立、合、致、意、對、し、右、
三、趣、方、と、合、承、知、夫、の、申、付、を、承、け、

一、本、國、軍、人、の、内、掛、針、役、（磁、針、役、司、の、役、） 不、病、氣、存、生、者、鐵、へ、上、り、い、ま、

前、七、月、に、致、意、死、し、但、兩、房、付、同、十、九、日、恒、真、寺、と、云、阿、彌、陀、
（の、名、人、あり、）

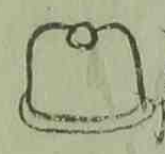
此、の、趣、め、に、行、外、に、云、

幅、五、半、百、斗、長、一、百、餘、里、遠、の、七、持、次、の、指、し、佛、里、色、の、院、
木、の、穴、を、ひ、り、里、遠、の、丸、構、山、本、に、繩、を、て、つ、ら、み、下、ろ、く、
十、人、を、引、提、鉢、の、西、の、方、水、門、に、う、り、さ、る、跡、に、兩、房、付、者、さ、る、
若、人、共、人、等、あり、の、人、三、十、年、下、ろ、ス、五、十、年、何、日、も、衣、
裳、本、國、の、衣、着、の、帽、を、見、る、一、回、三、回、を、持、て、送、る、水、門、が、
船、の、せ、ま、収、束、役、船、并、本、國、船、三、人、共、人、送、り、は、ま、り、院、の、
大、旗、二、本、を、指、さ、る、へ、海、面、埋、け、珍、し、き、事、あり、右、岸、の、
見、せ、の、跡、に、さ、り、合、見、申、付、さ、る、事、下、ろ、ス、一、人、船、中、に、
あ、死、ま、り、本、國、船、あり、さ、る、恒、真、寺、へ、舟、を、送、り、埋、け、由、恒、

とす。湊の西の方稲佐山あり。古き東人の墓ここあり。
葉鉄は湊の東方出するあり。

同月方認正音切て候。是の末也。江表より内海に
の四段あり。付月方候。本國船より献上物并手書東出
寄の葉鉄入積出し。船早のり外より。おす七棒のり。衣相の
内。二形。柳のり有る。一は。い。え。おのり。預。ち。あ。や。本船の。劍
付鉄炮。は。備。へ。致。堅。了。ち。ま。は。ハ。テ。イ。ラ。勝。と。一。ま。極。ち
て。葉鉄。の。門。に。到。ち。葉鉄。近。く。致。ゆ。え。通。商。船。中。に
美。了。致。積。出。す。本。一。寸。と。一。寸。と。鐵。方。早。き。り。瞬。ち。速。に
と。す。文。の。最。終。り。い。且。又。後。國。の。見。え。と。成。書。

東部。本國船乗組の。東人。ある人。五。強。佐。任。子。仇
折。一。同。柳。冬。り。早。き。り。後。と。ち。ま。は。ハ。テ。イ。ラ。勝。と。一。ま。極。ち
り。本國。と。持。ち。東。出。す。あ。し。か。ら。ゆ。り。本。の。は。ま。を
い。大。や。遠。く。と。ち。ま。は。ハ。テ。イ。ラ。勝。と。一。ま。極。ち
と。ち。ま。は。ハ。テ。イ。ラ。勝。と。一。ま。極。ち
帽子。金。鍔。付。一。頁。外。役。二。十。八。斗。例。り。美。服。あ。る。付。文
り。帽子。見。ゆ。し。一。マ。シ。ロ。ス。と。千。人。斗。例。り。美。服。あ。る。付。文
子。と。下。座。の。衣。裳。黒。帽。ち。の。里。子。千。人。斗。例。り。美。服。あ。る。付。文
サ。奥。の。衣。裳。の。衣。裳。 帽子。の。形。



五ヶ條 新由

- 一年に米三石五斗五升
- 將軍家息女申請由
- 信使五三に府に在る
- 長きものる陽津に浦に在る
- 竹島に在る一城郭を官に交り仕る
- 右の白木箱書指在る

- 一艦の名 軍船ニカト 一船の名 フランパン
- 一使臣の名 パーハエフコロス官名 コミシントコロ子ル西
- 肩房付リツトル^ル四ツ胸に掛ル 軍令を用ル將軍役
- 一軍將并士官 三十人官名 テクレイル 両肩に房付此内こそ
- リツトルニツニツ掛る者あり
- 一武卒 五十人 一軍艦船頭一人 一沖乗船頭一人
- 一武卒ニ船乗乗の者三十七人 但し石火矢打。小役。
- 水夫。黒坊。人物乗数三百二十人
- 一石火矢 三十八挺 其の銃砲武器夥し